

2017年1月16日

NPO 法人 ICT 救助隊

理事長 今井啓二

〒142-0063 東京都品川区荏原 5-5-3-102

Tel 03-3727-0479

実 施 報 告 書

【難病コミュニケーション支援講座 東桜会館】

日時：支援者向け講座：2016年12月17日（土）10:00～16:00、機器体験とスイッチ相談会：18日（日）12:30～16:00

会場：東桜会館 集会室（愛知県名古屋市東区東桜2丁目6-30）

参加者数：1日目40名、2日目31名

内訳：作業療法士1名、理学療法士3名、看護師3名、保育士1名、介護4名、教諭4名、会社員1名、家族1名、エンジニア1名、ボランティア1名

年齢：20代以下0名、20代3名、30代9名、40代7名、50代以上8名（アンケート回答より）

主催：一般社団法人日本難病・疾病団体協議会／共催：NPO 法人 ICT 救助隊

協力：SMA（脊髄性筋萎縮症）家族の会

【プログラム】

<1日目 12月17日（土）>

10:00 講演 独立行政法人国立病院機構八雲病院作業療法士 田中栄一先生

12:00 ランチョンセミナー

車椅子と座位保持について… 有限会社アイム・エイム 代表取締役木村茂正氏

13:00 当事者家族から望むこと

13:40 ゲームを活用した視線入力とスイッチの練習

～みんなで楽しくやる方法～ 島根大学総合理工学研究科助教 伊藤史人先生

14:20 レッツ・チャットとスイッチの適合

パナソニック エイジフリー株式会社 ケアプロダクツ事業部 松尾光晴氏

15:15 iOSのスイッチコントロールとスイッチの工夫 NPO 法人 ICT 救助隊

16:00 終了

<12月18日（日）> 機器体験とスイッチ相談会

12:30～16:00（受付開始は12:00）当事者ご家族だけでなく、支援者の皆さんも機器体験やスイッチ相談ができます。

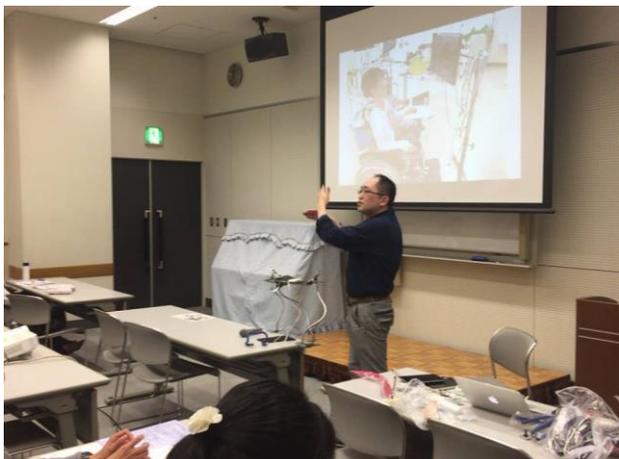
主な展示・体験機器

レッツ・チャット、伝の心、話想、iOSのスイッチコントロール、指伝話、おもちゃとスイッチの工夫、necomimi とこころかさね

視線入力（クレアクト、miyasuku EyeCon、デジタル透明文字盤 OriHime eye、アイスイッチ）
1 スイッチで遊べるゲームと EyeMot（島根大学助教 伊藤史人先生）
スイッチの適合と活用ポイント（八雲病院作業療法士田中栄一先生）

【写真】

八雲病院作業療法士 田中栄一先生



アイム・エイム 木村茂正氏



当事者家族から望むこと



レッツチャットとスイッチの適合



スイッチの適合



集合写真



最初の質問のみ、講座を受ける前にお答えください。

患者さんへのコミュニケーション機器の導入で、どのようなことに困っていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. どのような機器があるのかを知らない。－10
2. 機器の使い方がわからない。－8
3. 患者さんがコミュニケーションに積極的でない。－4
4. 患者さんのご家族がコミュニケーションに積極的でない。－2
5. 時間がない・時間がかかる。－5
6. その他－12
 - ・知識がないので、勉強に来ました。
 - ・まだ、利用者と直接関わったことがない。
 - ・知識・技術に自信がない。
 - ・機器を使用しているが、より有効な指導法を知りたい。
 - ・機器の適合
 - ・ご本人にあったものは何なのか？（5歳の女の子とコミュニケーションをつくるものを探すため）
 - ・情報が多く、自分の知識が追いついていない。
 - ・支援者として適合能力が未熟（この能力の向上）
 - ・費用面や補助など制度がわからない。協力機関がわからない。
 - ・スイッチをあわせるのが難しい。

2. どんなことを期待して講座を受講されましたか？

- ・QT 的見方
- ・視線入力について学ぶ
- ・スイッチコントロールについて学ぶ
- ・ICT 機器について専門家の方々のお話を聞いて勉強したい。
- ・コミュニケーション機器について知りたい。お話を聞いて、いろんなヒントがもらえたら、と。

- ・どんなニーズがあるか知りたかった。
- ・いろいろな種類も多く出ているので、情報を知りたくて。
- ・ご家族さんの話。
- ・姿勢と操作しやすさの関連。
- ・コミュニケーション支援の最新情報を知るため。
- ・どのようなものがあるのか知りたかった。
- ・八雲病院の田中先生の話を知りたくて。
- ・レッツチャットとスイッチの適合。
- ・スイッチを活用した様々な取り組み。
- ・コミュニケーション機器の情報を得るため。
- ・最新知識に触れておきたかった。
- ・ツールに対しての知識を増やしたい。
- ・評価のポイントと、実際に使うまでの流れなど知りたい。
- ・新しい情報が知りたくて、受講しました。
- ・機能の性能、知識、具体的な支援方法など。
- ・コミュニケーション機器をたくさん知る。
- ・どんなことでもいいので勉強したかった。
- ・コミュニケーション支援について初歩から勉強したい。
- ・視線入力を見てみたかった。
- ・今あるツールの情報収集。
- ・どうしたら情報にアクセスできるか。どこに連絡すれば支援者をサポートする情報に行き着くか。チーム作り。
- ・コミュニケーション支援に関する具体的な支援について。

3. 受講しての感想、聞きたかったことなどをお書きください。

八雲病院田中英一先生

- ・ホームページでの細やかな調整・提案ができるのは魅力的だと思った。
- ・具体的に、人間の最後まで動いている筋肉（動かせる場所）は、看護師として興味深かったです。とても良かったです。
- ・OT 室の設備。
- ・OT としての関わり時間やプログラム。
- ・話のポイントがあいまいで、ちょっと冗長な感じでした。何を尋ねればよいのか…。
- ・スイッチの工夫や方法。患者さんとの関わり方がとても参考になりました。有り難うございました。
- ・将来を見通して現在の取り組みを行うことの大切さがよくわかりました。
- ・比較対象を作って聞いてあげることをあまりしていなかったのが気をつけたいと思いました。
- ・知らないと気がつかない、とのこと。知ることが大事だと思いました。
- ・八雲病院さすがだと思いました。田中先生の幅広い知識にびっくりしました。
- ・全体にとっても勉強になりました。重力について考慮、大切ですね。呼吸器、特に勉強になりました。

- ・対応の次第で結果が大きく変わってしまうこと。仕組みの大切さ。

ランチョンセミナー 車椅子と座位保持について

- ・重力との関係と対応。
- ・シーティング大切ですね。
- ・木村さんのような業者さんがうちの地域にいてくれたら…。
- ・十分に正しく伝わる紹介だったか心配です。誤解されるかも。
- ・座位保持についてよくわかりました。
- ・1つの職種だけでなく、関わる職種皆での情報共有やスピードがより求められていると思いました。
- ・試行錯誤のご苦労は少し伝わりました。こういう方に身近についていただけると心強いですね。
- ・シーティング全般（業者によって見るポイントが少し違うと思ったから）
- ・ご本人に合う車いすの必要性、重力との関係もよくわかりました。
- ・姿勢保持とコミュニケーションは非常に大事で ICT の力で理想に近づけると感じた。

当事者家族から望むこと

- ・ ICT ツールの専門用語がよくわからなかった（ソフトやデバイス）
- ・ベースとなる講義の後であれば内容や苦労がよりよく伝わったと思う。
- ・実際の話で支援者に求めることが伝わりました。自身の関わり方も含めて反省するところでもあります。
- ・ご家族の工夫と、努力がとても素晴らしいと思いました。
- ・セラピストに望むこと。
- ・もっと時間を長く確保しておいて欲しかった。短くて残念。
- ・当事者家族の気持ちがよくわかりました。
- ・とても良かったです。
- ・実際にどのように機器利用をしているか、それによる生活、教育の広がりがわかって、とても参考になりました。
- ・当事者の方からのお話がとても良かったです。地域の学校へ通えるシステム作りを進めていけるようになれば。
- ・家族の気持ちや願いがよくわかりました。ICT や医学・福祉・教育など、オールジャパンで支援できる体制があると良いですね。

ゲームを活用した姿勢入力とスイッチの練習

- ・ステップアップの大切さ。
- ・学校への導入について、早くできるといいなあと思いました。ネットで購入は、敷居が高いです。
- ・視線、ゲームの可能性をもっともっと広めてください。
- ・伊藤先生の話は、わかりやすくよかったです。
- ・本筋とずれると思いますが、知的、発達障害領域に応用できないかなと思いました。
- ・とても良かったです。

- ・ゲームを活用して楽しくスイッチの練習ができることを知ってよかったです。
- ・軽妙な語り口が楽しかったです。ビデオでの事例紹介がたくさんあって分かりやすかったです。
- ・病院での導入方法。
- ・ゲームにストレス軽減や本人の達成感など良いイメージが増えてよかったです。
- ・大変参考になった。機器素人には発想もできない様々な方法があり、もっとできることがあると感じられる内容だった。

レッツチャットとスイッチの適合

- ・わかりやすく実用的で次に繋げられる内容だった。ブザーの練習はすぐに取り組みたい。
- ・スイッチの適合がいかに大切かがよく伝わりました。ホームページも見て事例も検討したいと思いません。
- ・スイッチの必要性、私もわかっていなかったのもとても良かったです。
- ・病院での導入方法。
- ・今日の話の中で最も有意義だった。スイッチが押せるようになってから、初めてレッツチャット。なるほど納得事例の動画が良かった。ホームページも見てみます。
- ・スイッチ操作は基本が大事ということがよくわかりました。
- ・製作者の熱意が伝わりました。
- ・とても良かったです。
- ・ご本人の身体がわかっていないと難しいと感じました。
- ・スイッチの適合のノウハウがもっともっと広がるといいなと思いました。
- ・気づかなかったことに気づかされました。

iOS のスイッチコントロールとスイッチの工夫

- ・勉強になりました。
- ・いろいろ工夫してあるので、勉強になりました。
- ・iOS の素晴らしさを知らない保護者の方が結構いるので、こういったお話は必要だと感じています。ヘルプのアプリ、初めて知りました。
- ・最新の情報を知ることができてよかったです。
- ・面白そうですね。アプリ、いろいろ試してみたいです。
- ・自分が iPad や iPhone を持ってないので今後役立てたいと思いました。
- ・大変参考になった。

最初に答えていただいた困っていることは、今回の講座を受けて解決しそうですか？

1. 解決すると思う 15

→参考になったプログラムはどれですか？

- ・本人の希望、周囲の人の意見も聞きながら、丁寧に考えていこうと思いました。
- ・全て参考になり良い内容だったが、今日だけでは…。
- ・全て参考になりました。

- ・ゲームの活用、当事者家族、レッツチャットの適合。
- ・田中先生、視線入力、レッツチャット。
- ・レッツチャットの話。
- ・レッツチャットとスイッチの適合、iOSのスイッチコントロールとスイッチの工夫。
- ・たくさんの機器の情報と提供の仕方が勉強になりました。
- ・田中先生の講演。
- ・明日、ご本人・両親とも参加されるので楽しみが広がりました。
- ・全体を通して大変参考になりました。有り難うございました。
- ・ゲーム活用と視線入力。
- ・視線入力

2. 解決しないと思う。 4

→どのようなプログラムがあればよかったですか？

- ・ちょっと不十分だったので…（八雲）シーティングを正しく伝えて欲しいです。
- ・iOS
- ・音声認識。
- ・良いものがたくさんあることが分かった。それをどう適用し、どう導入していくか、課題はそのまま残ってしまった。全体的に専門的な固有名詞が多く、支援初心者には難しい内容となってしまった。結局機械に強い人にしか、支援は難しいのか。

以上